

第1回 復興五輪連絡調整会議 議事概要

日時：平成30年9月4日（火） 15：45～16：30

場所：合同庁舎4号館4階 共用第2特別会議室

参加者：別添

各県より、聖火リレーや機運醸成、競技場整備等、「東京2020オリ・パラ競技大会」関連の取組の検討・調整状況を共有。その後、参加者より以下の発言があった。

- ホストタウン登録や機運醸成等、官民一体で取り組む必要。各市町村とも連携して復興状況の発信に取り組みたい。
- 大会での県産食材の活用に向けて、GAPや水産エコラベル、HACCPの取得を推進している。こうした中、IOC調整委員会公式夕食会やワールドプレスブリーフィング等での食材活用・PRに感謝。県産食材の活用推進や情報発信のため、今後ともこうした機会をご提供いただきたい。
- 聖火リレーについては、県内の全ての市町村をルートに組み込むことは困難。聖火リレーのコースから外れた市町村からランナーを選出するなど、ルートから外れた市町村も何かしらの形でリレーに参画できないか、よく考えたい。
- 被災者の中には、五輪よりも復旧・復興という思いを持っている方々もおり、全ての被災者が復興五輪をもろ手を挙げて歓迎しているという状況ではない。そのことを踏まえ、被災地の要望しっかり聞いて進めていただきたい。
- 特に、沿岸部では回復は道半ばであり、課題は交流人口の拡大と水産加工業の販路回復。復興五輪に向けて、引き続き支援をお願いしたい。
- 2019年のラグビーWCと、2020年のオリパラを通じて、世界中から頂いた支援に対し、「支援のお陰でここまで頑張ってきた」という感謝の思いを伝えていくことが必要。ラグビーWCも含め関係者と一緒に盛り上げていきたい。

以上

(別添)

所属・役職	氏名
復興副大臣	土井 亨
復興庁統括官	末宗 徹郎
復興庁復興五輪推進官（参事官）	山里 直志
復興庁参事官	早川 俊章
復興庁参事官	米澤 朋通
岩手県文化スポーツ部副部長兼文化スポーツ企画室長	石田 知子
岩手県文化スポーツ部参事兼スポーツ振興課総括課長	工藤 啓一郎
宮城県震災復興・企画部オリンピック・パラリンピック大会推進局長	大山 明美
宮城県震災復興・企画部オリンピック・パラリンピック大会推進課長	小野寺 彰英
福島県文化スポーツ局長	安齋 睦男
福島県文化スポーツ局スポーツ課オリンピック・パラリンピック推進室長	佐藤 隆広
【オブザーバー】	
公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会総務局長	手島 浩二
内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局参事官	荒井 陽一
東京都オリンピック・パラリンピック準備局 理事（大会準備調整担当）	西村 泰信